



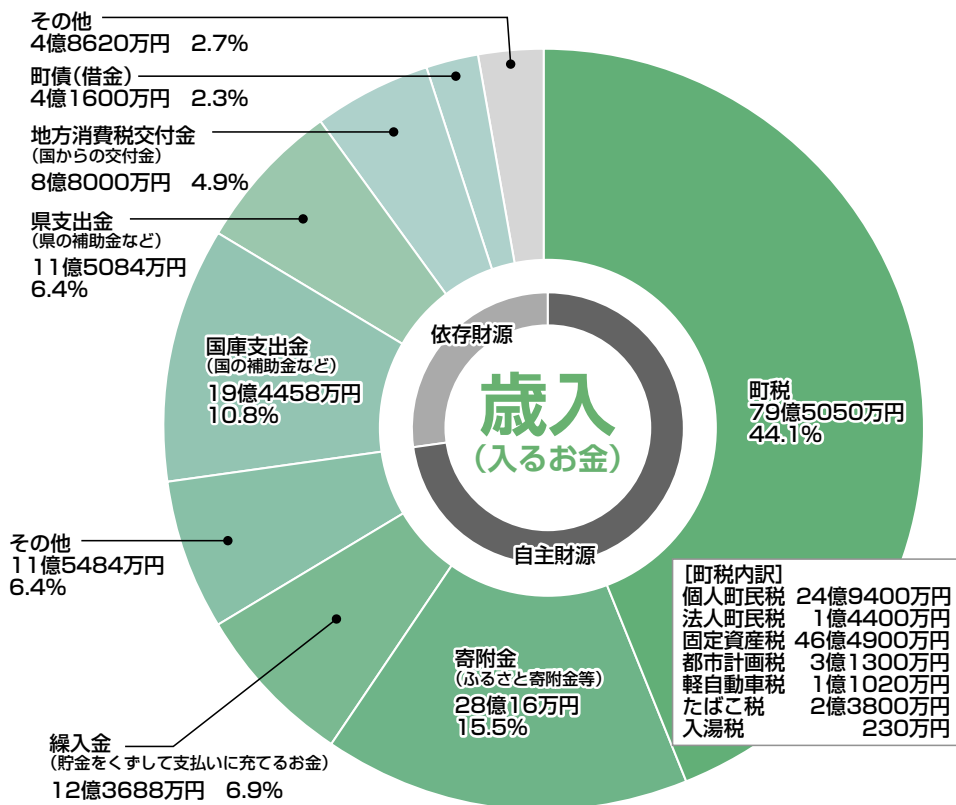
予算

今定例会では、令和3年度当初予算を審議するため予算特別委員会を設置しました。
一般会計、特別会計、公営企業会計を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

予算の概要 [このページ](#)

注目事業 [6ページ](#)

予算審議 [7ページ](#)



自主財源

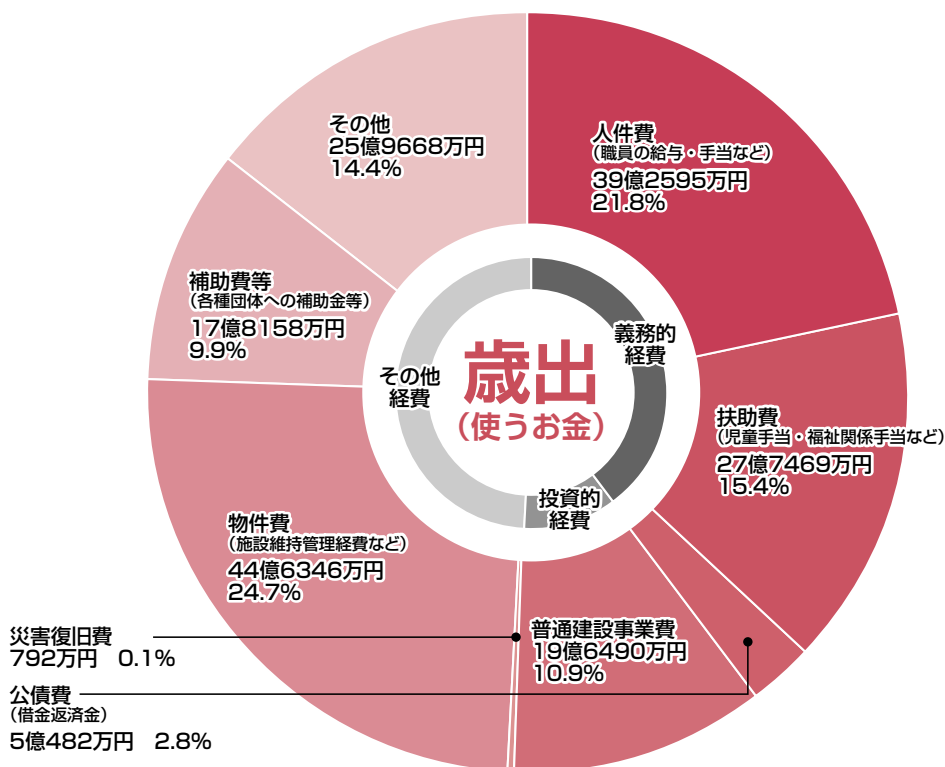
131億4238万円
72.9%

個人町民税、法人町民税、固定資産税、たばこ税、寄附金などの独自に確保できる収入

依存財源

48億7762万円
27.1%

国・県などの補助金、交付金や町債など



義務的経費

72億546万円
40.0%

人権費、扶助費など、義務づけられている経費

投資的経費

19億7282万円
11.0%

普通建設事業費と、災害復旧費で、固定的な資本の形成に向けられる経費

その他経費

88億4172万円
49.0%

一般会計180億2000万円 可決 税収減見込むも大型

令和3年度の一般会計予算は、**180億2000万円**で、対前年度3億6000万円の増額、4年連続で過去最大の更新となり、またしても大型予算となりました。

下記の表にある6つの特別会計と2つの公営企業会計を合わせて、**総額271億1687万円**です。

歳入全体の44・1%を占める**町税**の総額は**79億5050万円**で、前年度に比べ6億7820万円の減額。この要因は、個人町民税と法人町民税からなる町民税総額の対前年度5億9300万円減と、固定資産税の対前年度8100万円減などによるものです。

ふるさと寄附金は、対前年度2億円減での**28億円**を見込んでいます。**繰入金**は、各基金（貯金）から**12億3687万円**を取り崩しました。

借金にあたる**町債**は、対前年度1億9700万円増の**4億1600万円**で、驚田住民広場整備、役場屋外トイレ整備、中央公園整備などに充てるものです。

国庫支出金は、新型コロナウィルスワクチン接種事業費等で**19億4458万円**となります。

主な歳出は、注目事業で説明します。

概要を説明します



■各会計別の当初予算と採決状況

会 計 区 分		予 算 額	前年度比(%)	採 決 の 状 況
一般会計		180億2000万円	2.0	反対 1：賛成13で可決
特別会計	土地取得	2億9586万円	67.9	全員賛成で可決
	国民健康保険	32億7266万円	3.2	反対 1：賛成13で可決
	後期高齢者医療	5億2182万円	9.4	反対 1：賛成13で可決
	介護保険	21億2724万円	0.1	反対 1：賛成13で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	2億1073万円	▲23.7	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	3億7363万円	▲1.7	全員賛成で可決
水道事業会計	収益の支出	7億7009万円	▲0.6	全員賛成で可決
	資本の支出	4億1279万円	▲1.4	
下水道事業会計	収益の支出	6億8025万円	▲2.0	全員賛成で可決
	資本の支出	4億3180万円	2.4	
合 計		271億1687万円	2.0	

賛成

コロナ対策は待ったなしだ

伊澤 伸一 議員

現下の社会経済状況は、新型コロナ感染症との戦いの真っただ中にあり、経済も深刻な状況である。対策は一時たりとも止めることはできない。一方、空き家利活用事業など、そのまま実施するのは疑問があり、監視が必要だ。本予算には、新型コロナワクチン接種をはじめ、子育て、教育、健康福祉対策費など、町民の命とくらしを守るための予算が盛り込まれており、一日も早い成立が必要であり、賛成する。

討 論

空き家利活用は不透明だ

丸山 千代子 議員

反対

ふるさと寄附金の財政依存が強く安定財源とはいえない。法人町民税の超過課税で自主財源も確保を。平和都市宣言、18歳まで通院医療無料準備、35人学級の拡大など町民要望や議会の提案が反映され、一定の評価はするが、コロナ禍で生活に困窮する町民や小業者への支援が不十分。

マイナンバーへの保険証ひも付け、スーパーシティ構想は情報漏えいや監視社会の懸念がある。

空き家利活用は住民合意もなく不透明な点が多く問題だ。

以上の理由で反対する。